

連合「なんでも労働相談ダイヤル」 ☎ 0120-154-052
2018年9月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で932件の相談が寄せられ、先月の924件より6件増、年代別では40代、50代が全体の半数以上を占めた。
- 業種別については、4カ月連続で医療・福祉（127件・19.3%）が最も多かった。「サービス業（他に分類されないもの）」は先月の86件（13.5%）を大きく上回り、112件（17.0%）となった。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」（156件・16.7%）が実に7カ月連続で最も多かった。
- 具体的な相談では、「試用期間の中で一生懸命働いている。本採用をめざして業務に集中し、雑談にも十分に応じることがある。周囲の人に対しても強い口調で対応し、自分がどう思われているか不安である。誰にも相談することができず不安が募るばかり」「保険会社の代理店で働いている。パワハラを受け、心療内科に通院するようになった。同業他社に転職しようとしたら、上司から『保険募集人の資格を剥奪する』と言われた」などが寄せられた。

		2018年			2017年		
集計対象期間		9月1日～9月30日			9月1日～9月30日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		932			1,017		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	493	52.9%	男性	527	51.8%	
	女性	439	47.1%	女性	490	48.1%	
年代 (不明除く)	10代	4	0.5%	10代	4	0.5%	
	20代	105	13.8%	20代	101	12.5%	
	30代	157	20.6%	30代	173	21.4%	
	40代	234	30.7%	40代	268	33.2%	
	50代	185	24.2%	50代	167	20.7%	
	60代	69	9.0%	60代	78	9.7%	
	70代	9	1.2%	70代	17	2.1%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	488	56.0%	正社員	495	53.1%	
	パート	145	16.6%	パート	160	17.1%	
	アルバイト	39	4.5%	アルバイト	53	5.7%	
	派遣社員	54	6.2%	派遣社員	63	6.8%	
	契約社員	74	8.5%	契約社員	93	10.0%	
	嘱託社員	8	0.9%	嘱託社員	9	1.0%	
	臨時・非常勤職員	7	0.8%	臨時・非常勤職員	7	0.8%	
	その他	57	6.5%	その他	53	5.7%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	127	19.3%	サービス業(他に分類されないもの)	144	20.2%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	112	17.0%	医療・福祉	129	18.1%
	3位	卸売・小売業	91	13.8%	製造業	122	17.1%
	4位	製造業	90	13.7%	卸売・小売業	79	11.1%
	5位	運輸業	72	10.9%	運輸業	51	7.2%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	156	16.7%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	147	14.5%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	85	9.1%	解雇・退職強要・契約打切	98	9.6%
	3位	雇用契約・就業規則	77	8.3%	雇用契約・就業規則	86	8.4%
		退職金・退職手続	77	8.3%	退職金・退職手続	63	6.2%
	5位	年次有給休暇	45	4.8%	年次有給休暇	54	5.3%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	28	3.4%	新聞・雑誌	34	4.0%	
	ラジオ・テレビ	8	1.0%	ラジオ・テレビ	14	1.6%	
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	82	10.0%	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	97	11.3%	
	ホームページ	500	60.9%	ホームページ	444	51.8%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	14	1.7%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	19	2.2%	
	紹介(労基署等)	43	5.2%	紹介(労基署等)	44	5.1%	
	その他	146	17.8%	その他	205	23.9%	

【参考】2018年9月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 49件